



# 手のひら通信

去年の4月より進めてまいりました「手のひらに太陽の家」プロジェクト。2012年7月21日に無事開所を迎えることができました。開所式の前日、20日には日頃お世話になつて

いる近所の方々へ感謝の気持ちも込め、お披露目をしました。これから始まる福島の親子の受け入れや、私たちの活動への想いなどを手作りの料理を食べながら、のんびりとお茶っこスタイルでお話をしました。お披露目会には、調味料の提供をして頂いているヤマカノ醸造株式会社さんや、イベントなどでお世話になつておるとよま北上川かっぱの会の皆様にもご出席いただきまし

たが、約70名の方々にご出席頂きました。地元の方々との交流の場にもなり、とても充実したお披露目会となりました。皆さん「木のぬくもりを感じて頂けました。また、沢山の方々に「頑張つて下さい」「応援しています。」「暖かい言葉を頂き、スタッフ一同今後の活動へますます気持ちが高まり、新たな力を

短い時間ではありま

短いが、約70名の方々にご出席頂きました。地元の方々との交流の場にもなり、とても充実したお披露目会となりました。皆さん「木のぬくもりを感じて頂けました。また、沢山の方々に「頑張つて下さい」「応援しています。」「暖かい言葉を頂き、スタッフ一同今後の活動へますます気持ちが高まり、新たな力を



▲お披露目会の様子

頂きました。これから、地元の子ども達も一緒に遊べる交流の場になればと思います。



21日に行われました「手のひらに太陽の家」竣工・開所式典には、支援者の皆様、関係者総勢100名を超える方々にご出席いただき、大盛況のうちに幕を閉じることができました。ご参加くださった方々、サポートいただいた方々に改めましてお礼申し上げます。ありがとうございました。



▲手作りのメッセージボード

お問い合わせ  
手のひらに太陽の家  
宮城県登米市登米町寺池  
辺室山17番地1  
0220-23-9755(Tel)  
0220-23-9756(Fax)  
info@taiyounoie.org  
http://taiyounoie.org/



▲テープカットの様子



▼カプトムシと遊んでいる様子

早速、21日の午後から福島より1家族3名の受け入れを始め、翌22日からは5家族20名の親子が手のひらに太陽の家で保養滞在を始めることとなりました。夏休みの期間に実施いたします「おためし保養」には

福島では、一日たりとも放射能の心配をしない日はないです。それがストレスとなり、怒らなくとも良いことで子どもを怒ってしまう事が多々ありました。こちらでお世話になっていた日々は私も子供も楽しく心の底から笑いました。

### 小さな旅

手のひらに太陽の家から、こんにちは  
～利用者の方々より～

28家族101名の方々にご利用頂く予定です。今後、「手のひら通信」では、「手のひらに太陽の家」を身近に感じて頂けるよう、日々の出来事を毎月紹介していきます。どうぞ宜しくお願い致します。

太陽の家が出来るまでと現在、そしてこれから、沢山の支援をして下さる方々へ感謝の気持ちでいっぱい입니다。ありがとうございます。リフレッシュできたのでまた頑張っていけそうです。

(福島市30代女性)



▼開所記念写真

7月21日、手のひらに太陽の家がオープンしました。ここに至るまで、本当にたくさんの方々のご支援、ご協力をいただき、無事に開所式を迎えることができたこと、あらためて御礼申し上げます。開所から10日です。10家族を受け入れ、5家族を送り出しました。ほんの数日の滞在であるにもかかわらず、「この場所があることが支えになります。」と言ってくださったお母さんの言葉を胸に刻み、スタッフ一同歩みを進めてまいります。今後とも、あたたかくお見守り下さい。

手のひらに太陽の家 所長 細木典子



私たちは3.11の震災でたくさんの方のことを失いました。失ったものも多いですが新たに手にしたこともたくさんあると思います。

この「手のひらに太陽の家」は多くの方々に支えられて生まれました。今、子どもたちの元気な声が響いています。

震災によって様々な困難に直面している子どもたちとその家族が少しでもストレスがなくなるのびと過ぐす環境です。実現には多くの方々の支援と地域の方々の理解がありました。ここに深く感謝申し上げます。

NPO法人

日本の森バイオマスネットワーク  
理事長 佐々木豊志